

ランチェスター法則による 弱者の教育戦略【DVD 2巻】

教育効果を左右する良い教材の選び方

1章 従業員教育の基本原則

- A.経営における従業員教育の位置付け
- B.教育を構成する7大要因
- 1 誰から教育するか
- 2 何を教育するか
 - ①中小企業の利益実態
 - ②経営の基本原則を教育
 - ③各人が担当している仕事を教育
 - ④30歳を過ぎた人は担当以外の仕事を教育
 - ⑤利益性の原則を教育
 - ⑥弱者の戦略を教育、他
 - ⑦積極的な考え方を教育
- 3 従業員の素質を確認

2章 従業員教育の実践

- 1 必要な教材を準備
 - ①教材で説明されている規模と自社の規模が近いこと
 - ②業種が同じか近いこと
 - ③内容のレベルが高いこと
 - ④お客作りに焦点を当てた内容になっていること
 - ⑤教材費を予算化すること
- 2 誰が教育するか、社長になる
 - ①寺小屋式の教育
 - ②戦術リーダーにはOJTを教える
 - ③外部講師の利用
 - ④外部講習会への参加
- 3 教育回数を多くする
 - ①教育計画を立てる
 - ②自己学習の仕組みを作る
- 4 実行力強化は朝の計画で決まる
- 5 実行者は社長がほめる